

キラリ! 地域おこし協力隊

遠野に移り住み活動する「地域おこし協力隊」の活動の様子や関連イベント情報などをお伝えします。



1_ 佐々木喜善の格好をした私。遠野の現代の不思議な話や怪談を集めています 2_ 県内の協力隊員がホップ栽培作業を手伝いに来てくれました 3_ 大好きな遠野の風景。5~6月の田んぼがとてきれいで好きです

Q 活動内容を教えてください
 より多くの人に遠野のホップ栽培を知ってもらい、その魅力を感じてもらおうと、実際に遠野を訪れてもらえるように情報を発信する仕事をしています。遠野のホップを使用して作られたビールを提供している飲食店や、ジンギスカンをはじめとする食文化の情報、SNSでも反応がいい

Q 活動での気付き
 遠野の自然と文化の豊かさに感動しています。遠野をどこか遠い街だと感じている人も、一度この景色を見て美味しい食事や親しみやすい皆さんと触れ合ったら、きっと遠野のことを好きになると思

**「遠野といったらビール」と
 市民の人にも感じてもらいたい**

小田切 大輝 隊員 山梨県出身・31歳
 (2020年11月着任)

移住し、挑戦中!
 小田切さんのプロジェクト
 「ビールの里構想」
 (販売プロデューサー)

です。また、ホップ栽培に限らず、遠野の美しい風景や観光地の情報も一緒に届けています。

「今後の目標を教えてください」
 遠野に住んでいる皆さんともっと触れ合う機会をつくりたいと思っています。ホップやビールを身近に感じていない人にホップ畑に遊びに来てもらい、ビールについてももっとこうなったら面白いんじゃないか、という話をしたいと考えています。

現在、同じ協力隊員と一緒に「ビールの森」という遠野市民の皆さんを巻き込む活動を不定期で実施しています。また、広報でもイベントについてお知らせできたらと思いますので、気になった人はぜひ参加してください! ホップ畑で会いましょう。

▶ 隊員と一緒に怪談を楽しもう イベント情報

info date / 8月28日(日)、17時~19時

怪談師オダギリの本当は面白い怪談の世界

- ▶ 内容 遠野物語や妖怪の伝説が残る遠野で怪談を楽しむ
- ▶ 会場 「アトリエ遊」(遠野市上組町1-9)
- ▶ 参加費 600円(ご自身や周りの人の体験談をオダギリに話してくれた参加者は100円キャッシュバックします)
- ▶ 定員 20人
- ▶ 対象 怪談に興味のある方大歓迎
- ▶ 申し込み・問い合わせ 8月27日までに地域おこし協力隊の田仲隊員にメール(miki.tono1001@gmail.com)

遠野の歴史文化を紹介 遠野史歴訪

あまり知られていない遠野の歴史文化をご案内。本コーナーでは、遠野の歴史文化や、遠野遺産などについて紹介します。

柳田國男没後六十年記念展 「遠野物語の世界」見どころ紹介

今年には日本民俗学の創始者・柳田國男(一八七五~一九六二)の没後六十年の記念の年にあたることから、博物館では特別展「遠野物語の世界」を開催しています。

柳田國男は明治八年、現在の兵庫県福崎町辻川に生まれました。東京帝国大学を卒業後、農商務省に務めるなど官僚生活の傍ら、明治四十三年に日本民俗学発祥の記念碑とも呼ばれる『遠野物語』を発表しました。大正八年官界を去り、昭和三十七年に永眠するまで『雪国の春』『海上の道』など多くの著作を刊行し、日本民俗学の発展に尽力しました。

『遠野物語』は、柳田國男と佐々木喜善、水野葉舟の出会いによって誕生しました。遠野出身の佐々木喜善が、友人の小説家・水野葉舟に連れられて柳田國男の家を訪ねたのは、明治四十一年十一月四日のこと。当時、柳田國男は三十三歳の宮内書記官、佐々木喜善は二十二歳の早稲田大学の学生でした。佐々木喜善は遠野に伝わ



「佐々木喜善の日記」
 明治41年11月4日、柳田國男に初めて対面した日の日記
 佐々木家寄託資料



「天狗(金毘羅)像」
 えさし郷土文化館 蔵

る不思議な伝承を語り、強い関心を抱いた柳田國男は、その話を書きとめて『遠野物語』を書くことを決意したといわれています。

本展では、『遠野物語』出版までの経緯に関する書簡や日記などのほか、『遠野物語』に登場する河童や天狗などの妖怪やザシキワラシ、オシラサマ、山の神などの神や精霊などに関する遠野と東北各地の資料を展示します。

▼会期 八月三十日(火)まで
 ▼時間 九時~十七時(入館受付は十六時半まで)

第149回

遠野遺産

The Tono Heritage

遠野遺産認定第162号「有形文化遺産」(令和3年10月29日認定)

五百羅漢

推薦者 遠野町第11区自治会



五百羅漢は、今からおよそ250年前、東北地方を襲った度重なる大飢饉で亡くなった人々の魂を供養するため、大慈寺の義山和尚が自然石に500体の羅漢を線彫りしたものと伝えられています。義山は遠野南部27代南部信彦公に物見山北側の地の払い下げを願い、この地を整備し羅漢を彫ったほか、霊泉を引いて滝を造りました。この滝は後に「新滝」と呼ばれ、滝を中心に桜や桃の木のほか、池庭が造られ、花見の名所として親しまれました。今では飢饉の歴史を伝える遠野を代表する観光スポットとなっています。



MEMO
 住 綾織町新里31地割62番地2
 交 五百羅漢さわやかトイレ駐車場から徒歩15分
 回 遠野地区センター(☎62-4411)